

本レポートは、農業者の皆様が需要に応じた生産を進めていく上で、経営判断の参考に活用いただくため、県産米の需給動向に関する情報を緊急的にお知らせするものです。

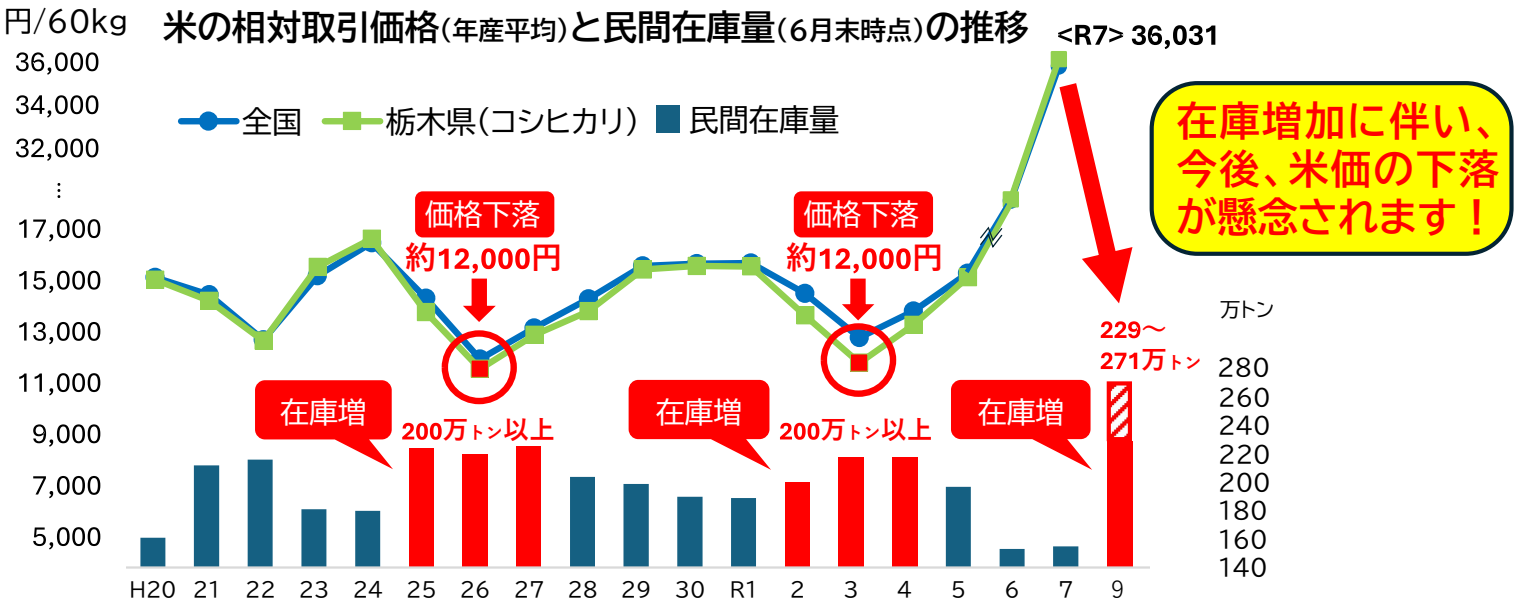
1 水田における作付意向について(令和8年4月末時点)

国から、**令和8年産の水田における作付意向(4月末時点)**が公表されました。

本県の主食用米の作付意向は、**59,700ha**であり、令和7年産実績58,100haと比べると、**増加面積は、全国で本県が最も多くなっています**。

過去、6月末民間在庫量が200万トン以上となった際に、**栃木県産米(コシヒカリ)相対取引価格が約12,000円/60kg**となったことを踏まえると、**大幅な米価下落が懸念**されます。

※ 主食用米から加工用米・米粉用米等への用途変更を検討しましょう！
(営農計画書の6月末提出期限後も、8月20日まで営農計画書の変更が可能です)



	R 8 作付意向①	R 7 作付実績②	増減面積①－②
主食用米	59,700	58,100	+1,600
備蓄米	1,100	0	+1,100
加工用米	1,400	1,700	▲300
米粉用米	400	200	+200
飼料用米	2,800	5,000	▲2,200
WCS用稲	1,400	2,000	▲600
輸出用米	70	50	+20
麦	6,600	6,600	±0
大豆	400	400	±0

主食用米
生産量増

在庫の増加!?

そのため

R8作付参考値 52,338ha(R7作付実績よりも1割減)を踏まえ、需要に応じた生産を進められるよう、引き続き、県産米に関する需給動向や価格動向等の情報を提供して参りますので、用途変更の検討等により、経営の安定を図りましょう！

2 各種支援策について

R8年度の主な水田活用の直接支払い交付金の交付単価は以下のとおりです

産地交付金(県設定メニュー)	交付単価(円/10a)	備考
① 飼料用米【単価上乘せ】	3,000	令和8年度 一時的に上乘せ
② 飼料用米(地域内流通)	2,000	①と同時に活用可能
③ 米粉用米	1,000	
④ 米粉用米(地域内流通)【新設】	2,000	③と同時に活用可能
⑤ 加工用米【新設】	1,000	
⑥ 加工用米(地域内流通)【新設】	2,000	⑤と同時に活用可能
⑦ WCS用稲	1,000	
⑧ 輸出用米	5,000	
⑨ 野菜(新規)	40,000	
⑩ 野菜(新規)(団地化加算)	10,000	⑨と同時に活用可能
⑪ 野菜(既存)	5,000	

戦略作物助成	交付単価(円/10a)	備考
① 飼料用米(多収品種)	55,000～105,000	収量に応じて単価変動
② 飼料用米(一般品種)	55,000～ 75,000	収量に応じて単価変動
③ 米粉用米	55,000～105,000	収量に応じて単価変動
④ 加工用米	20,000	
⑤ WCS用稲	80,000	
⑥ 麦・大豆・飼料作物	35,000	

各作物の需要動向

◎麦

栃木県産麦は安定的な需要があります。特にビール用や焼酎用として汎用性の高い「ニューサチホゴールデン」、麦茶用として需要の高い「シュンライ」、食用として「もち絹香」が求められています。

◎大豆

県産大豆は、実需者から味の良さやバラつきが少ない等の品質面が評価されており、主に豆腐用途で使用されるなど、需要が高まっています。

◎政府備蓄米

令和8年産では政府備蓄米の買入札が実施されています。需要に応じた生産を円滑に進める観点や品目別の手取り優位性等を考慮し、落札価格の最大化と令和9年産以降の県別優先枠の確保に向けて取り組みます。

◎飼料用米

令和7年産においては、需要に対して十分な供給ができませんでした。令和8年産では、主食用米の在庫量増加の懸念も踏まえ、生産コストの低減や地域の需要動向を踏まえた生産を図るなど、作付拡大に取り組めます。

◎加工用米

県内の実需者などの需要が見込まれることから、令和8年産においても実需との結びつきを強化するなど、作付拡大に取り組めます。

◎米粉用米

年々着実に需要が高まっており、県内の実需者から県産米粉用米の数量確保を強く求められていることから、生産から流通・販売までの一貫した取組を促します。

お問い合わせ先 : 栃木県農業再生協議会

JA栃木中央会農業対策部 TEL:028-616-8531
栃木県農政部生産振興課 TEL:028-623-2279

※本レポートの出典先:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」を抜粋・集計